



花緑輝

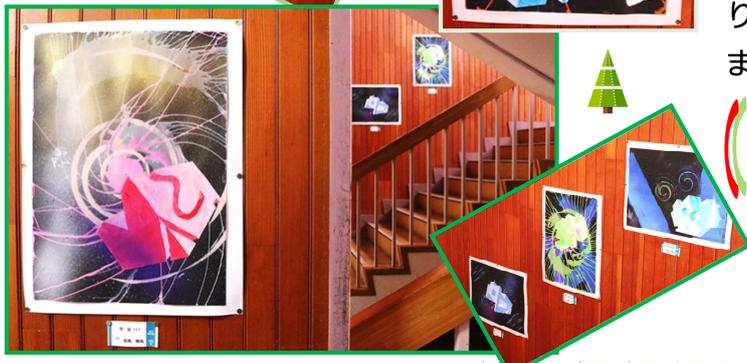
令和2年度
学校報 12月号③
大仙市立
太田中学校

ART STAIRS

前回好評だった”ART STREET”の第二弾は”ART STAIRS”（芸術階段）です。東廊下から2階に上がる東階段にも2年生の「抽象画セレクション」が展示されていました。



二匹目のどじょう



〈受験生への叱咤激励コーナー〉

「栄光は君たちに輝く」



先日の実力テストで電気が走った3年生が多かったようです。出題形式がこれまでとちょっと違ったために戸惑った…という指摘もあります。慣れてきたはずでも、総合的な問題になるとガクッと…ということも多々あります。ですから、いろんなタイプの問題に慣れる必要があります。厳しいようですが、受験勉強は、ひとり孤独に耐えながら頑張っても、なかなか進まない辛い作業でもあります。でもそこから逃げていては成り立ちません。（さて、イラストの意味はお分かりですか？）

(国際+キャリア)教育 講師はゼイン先生

県の教育課題に「グローバル社会で活躍できる人材の育成」があります。そのために、外国の方をキャリア教育の講師とするのはアリですし、国際教育と一石二鳥になると考えます。

実は、大曲南中学校は外国の方々を招いての進路集会を行っていて、今年度はゼイン先生が



ゲストとして招待されました。「私が日本に住む理由やこれから」を語ったその内容が激賞されたので、本校でも1.2年生にお話をさせていただきました。プレゼン後に、「おれも大学に行く！」とつぶやいた生徒もいたとか。

だから動けない?!



◇学校報6月号④の「〇〇なら花丸で（飯盒炊飯）しよう」という記事に「太中生は頼むとやってくれるが、自分からという生徒は少ない。」と書きました。これはある意味当然で、「子供は気持ちがあっても、どう対処すればいいのか分からない。だから動けない。」とあります。
◇ただ、12月になりちょっとした変化を感じます。例えば掃除の時間に「代わりますか?」「やります!」と言ってくれる生徒が増えてきました。特に、2年生の教室の前あたりで…。
◇本校では、率先垂範で先生方も掃除に取り組んでいます。掃除だけではありません。望ましい行動様式（気付いて⇒感じて⇒動くこと）は、手本を見て経験を重ねて身に付けていくものなのかなと考えました。

大仙市明るい選挙啓発標語コンクール

- 優秀賞 藤田さん（3年）
「この一票 今と未来をつなぐバトン」
- 優良賞 三浦さん（3年）
「作りだそう 僕らの未来を この票で」

※市選挙管理委員会の方々が表彰に来校してくださりました。

